

令和4年度 第1回西脇市国民健康保険運営協議会会議録

- 1 開催年月日 令和4年7月29日（金）
- 2 開催場所 西脇市健康福祉連携施設 2階会議室
- 3 開会及び閉会時刻 開会 午後1時30分  
閉会 午後3時
- 4 出席委員 池 添 正 洋 委員  
東 田 町 子 委員  
岡 田 康 作 委員  
大 隅 昭 幸 委員  
福 永 昌 委員  
長 井 正 彦 委員  
齋 藤 周 藏 委員  
亀 井 礼 子 委員  
藤 原 珠 美 委員  
藤 井 清 孝 委員
- 5 欠席委員 和 田 良 勝 委員  
藤 原 榮 子 委員
- 6 会議録署名委員 大 隅 昭 幸 委員  
亀 井 礼 子 委員
- 7 説明のため出席した者の職氏名  
西脇市長 片 山 象 三  
くらし安心部長 高 田 洋 明  
保険医療課長 萩 原 靖 久  
保険医療課保険担当主査 芦 田 周 美  
健幸都市推進課長 依 藤 嘉 久  
総務部長兼税務課長 藤 井 隆 弘  
税務課収税対策担当主査 仁 尾 真 之
- 8 傍聴人 0名
- 9 会議に付した案件  
報告事項  
  - (1) 令和3年度西脇市国民健康保険特別会計決算について
  - (2) 令和4年度西脇市国民健康保険特別会計予算について
  - (3) 国民健康保険税の状況について
  - (4) 国民健康保険被保険者証の更新状況について
  - (5) 医療費の状況について
  - (6) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について
  - (7) その他

令和4年度第1回西脇市国民健康保険運営協議会会議録

発言者	記 事
事務局	<p>○開会</p> <p>○会議成立の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員2名欠席のため、本日の出席委員は10名。過半数以上の出席により会議は成立</li> </ul>
会 長	<p>○会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の出席に対するお礼。</li> <li>・新型コロナ感染症が大流行している。いつだれがかかってもおかしくない状況で、医療体制のひっ迫が懸念される中、医療従事者の皆様に感謝申し上げるとともに、一日も早い感染収束を願う。</li> <li>・昨年度は医療機関や健康診断の受診控えもデータ上は一段落したようである。本日も市の国民健康保険の状況について説明があるので、活発な質疑や意見をお願いしたい。</li> </ul>
市 長	<p>○市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の出席、国保運営への協力に対するお礼。</li> <li>・新型コロナ感染症については、新規感染者数が過去最多を更新するなどまさに第7波が猛威を振るっている状況で、国保においても、傷病手当金の支給や国保税の減免を引き続き行っている。引き続き感染予防対策をお願いしたい。</li> <li>・委員の任期は3年であり、突発的なことがない限り本日の運営協議会が任期最後の会議となる。国保制度の大きな移り変わりの時期に委員を務めていただき感謝申し上げます。</li> <li>・本日の会議でも忌憚のない意見をお願いしたい。</li> </ul> <p>※あいさつ後、市長退席</p>
事務局	<p>○出席職員の紹介</p> <p>○配付資料の確認</p>
事務局	<p>(進行を事務局から会長へ交代)</p>
会 長	<p>○会議録署名人選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録署名人に大隅昭幸委員と亀井礼子委員を指名</li> </ul>
会 長	<p>○<b>報告事項(1) 令和3年度西脇市国民健康保険特別会計決算について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明を求める。</li> </ul>

事務局	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度決算における歳入について、最終予算額と決算額との比較により説明する。</li> <li>・国民健康保険税の決算額は、7億5,665万4千円で、8,487万2千円の増であり、これは収納率が当初予算時を上回ったことによる。</li> <li>・県支出金の普通交付金は、31億2,436万8千円で、1億4,217万2千円の減である。</li> <li>・県支出金の特別交付金では、がん検診、医療費通知、健康づくりの取組に交付される県繰入金2号分は7,244万2千円となり、県支出金合計の決算額は32億4,041万円となった。</li> <li>・繰入金のうち、保険基盤安定繰入金の保険税軽減分及び保険者支援分はそれぞれ1億5,938万5千円と7,875万3千円、職員給与費等繰入金は6,018万1千円、出産育児一時金繰入金は501万7千円となっている。</li> <li>・また、その他（法定外）繰入金は3,401万7千円で、549万1千円の減である。</li> <li>・なお、令和3年度も基金からの繰入は行っていない。</li> <li>・これらにより、歳入の合計は44億5,490万5千円となる。</li> <li>・次に、歳出について、総務費は、7,734万1千円で、前年度比1,138万5千円の減である。</li> <li>・保険給付費は、30億9,872万4千円で、前年度比8,703万5千円の増である。これは一人当たり医療費の増加によるもの。</li> <li>・事業費納付金は、11億2,649万9千円で、前年度比1,615万3千円の減であり、兵庫県に納付した。</li> <li>・保健事業費は、3,305万3千円で、前年度比339万1千円の増である。特定健康診査の受診率が回復したことによる。</li> <li>・諸支出金は、3,958万1千円で、精算による過年度の国、県支出金等返還金の増が要因である。</li> <li>・以上、歳出の合計は、43億7,551万2千円となり、歳入歳出差引額は、7,939万3千円となる。</li> <li>・この歳入歳出差引額のうち、2分の1相当に当たる4,000万円を財政調整基金へ積み立て、翌年度へ3,939万3千円を繰り越した。</li> <li>・財政調整基金の残高は、6億2,648万6千円となっている。</li> <li>・国民健康保険加入状況について、令和4年度の世帯数は4,901世帯で151世帯の減少を、被保険者数は7,379人で360人の減少をそれぞれ見込んでいる。市における被保険者加入率も年々減少しており、令和4年度は18.91%を見込んでいる。</li> </ul> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
-----	--

<p>会 長 事務局</p>	<p>○<b>報告事項(2) 令和4年度西脇市国民健康保険特別会計予算について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明を求める。</li> </ul> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度予算について、歳出を中心に、その財源とあわせて説明する。</li> <li>・総務費は、8,644万7千円で、前年度比496万の減である。人件費の減などがその要因である。</li> <li>・保険給付費は、32億3,176万4千円で、前年度比3,543万3千円の減である。被保険者数の減が主な要因である。財源は、県から交付される保険給付費等交付金である。</li> <li>・国民健康保険事業費納付金は、10億4,571万円で、前年度比8,079万円の減である。主な財源は国保税であり、その他は軽減世帯に係る保険税収入相当額の一般会計繰入金や県支出金である。</li> <li>・なお、被保険者一人当たりの国民健康保険事業費納付金は、医療給付費分及び後期高齢者支援金等分は減で、介護納付金分は増となっている。</li> <li>・保健事業費は、4,546万1千円で、特定健康診査や特定保健指導、医療費通知発送や人間ドックの費用助成等に充てる。財源は、特定健診等事業費については、補助対象額の3分の1を国、3分の1を県が補助し、残額は市の一般会計繰入金で賄っている。保健事業費については国保税が主な財源となる。</li> <li>・諸支出金は1,690万円、基金積立金は財政調整基金の利子の再積立金として130万2千円、予備費は500万円である。</li> <li>・これらをトータルした令和4年度の歳入歳出額は、44億3,258万4千円であり、前年度最終予算と比べると1億4,428万6千円の減となる。被保険者の減による保険給付費の減が主な要因である。</li> </ul> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>○<b>報告事項(3) 国民健康保険税の状況について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明を求める。</li> </ul> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の国保税額は、県の標準保険税率に基づき設定しており、7月上旬に納税通知も発送したところである。</li> <li>・当初賦課の状況について、医療分・後期支援分の一世代当たりの調定額は、134,441円、一人当たりの調定額は、89,334円である。介護分の一世代当たりの調定額は、37,082円、一人当たりの調定額は、31,573円となっている。</li> <li>・令和3年度の収納状況について、現年度分は、調定額7億4,503万9,700円に対し、収入額は7億1,238万6,128円で、収納率は</li> </ul>

	<p>95.62%となっており、前年度より0.54ポイント上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納繰越分は、調定額2億 1,421万 7,681円に対し、収入額4,426万 8,033円で、収納率は 20.66%となっており、これも前年度より0.28ポイント上昇した。</li> <li>・合計では、収納率 78.88%で、前年度比2.88ポイント上昇という状況であり、税務課による収納率向上対策への取組が非常に大きいと考えている。</li> <li>・北播磨5市1町における一人当たり調定額の比較では、西脇市は高いほうから5番目であり、前年の世帯所得 300万円・被保険者4人世帯という同じ条件での保険税額を比較すると、高い方から4番目となる。なお、一人当たり調定額と順位が異なるのは、低所得世帯の割合が高く、軽減対象世帯が多いことから調定額が下がっていることによる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による国保税の減免については、昨年度は28世帯の減免を決定しており、本年度も数件の問合せがある。</li> </ul> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>○<b>報告事項(4) 国民健康保険被保険者証の更新状況について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明を求める。</li> </ul> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年前、令和3年6月30日現在の被保険者証の交付状況は、加入世帯数 5,107世帯のうち、被保険者証交付世帯は 4,768世帯、残る339世帯には、納税相談や納付状況等の結果、短期証等を交付している。</li> <li>・本年度、令和4年6月30日現在の交付状況は、加入世帯数 4,971世帯のうち、被保険者証交付世帯は 4,649世帯、短期証等の交付世帯は 322世帯で、前年度と比較し17世帯減少している。</li> <li>・資格証明書交付は11世帯で、1年以上税の納付がない世帯である。</li> <li>・また、未交付世帯は27世帯ある。納税相談の通知や電話勧奨を行うが、なかなか面談にまで至らない世帯である。</li> <li>・短期被保険者証等が交付されている世帯のうち、高校生18人及び中学生以下69人の計87人には、被保険者証の交付止めはせず、6か月証で更新している状況である。</li> </ul> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>○<b>報告事項(5) 医療費の状況について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明を求める。</li> </ul> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、前年度と比較して、入院、外来、歯科、訪問看護費</li> </ul>

	<p>の一人当たり費用額は増、調剤、療養費は減となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の一人当たり費用額は463,274円で、前年度比31,307円の増となっている。総医療費は令和元年度までは年々増加を続けていたが、令和2年度には新型コロナの影響による受診控えにより減少した。しかし令和3年度にはもとの状態に戻ってきたことで、増となったものと考えている。また、65～74歳の前期高齢者の占める割合も年々増加しており、これも増加の要因といえると思う。</li> <li>北播磨5市の医療費の状況では、残念ながら本市が1番高い状況である。被保険者の高齢化や、糖尿病等の生活習慣病や筋骨格疾患の医療費の増加が要因と考えており、今後も、生活習慣病の重症化予防等への取組が大きな課題である。</li> </ul>
委員	<p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保険税について、資料を見ると介護納付金分は高い。また一人当たり医療費も高いが、保険税は低いという説明があった。これは一般会計からの繰入が多いという理解で良いのか。自治体のねらいとして保険税を低くしているということではないのか。</li> </ul>
事務局	<p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療費が一番高くて、保険税が一番低いというご指摘だったと思う。西脇市は低所得者層が多く、保険税の軽減を受けている方が多いため、そのような状況になっているということである。</li> </ul>
委員	<p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基金の件だが、明石市はずっと2億円程度で移行していたのが、平成30年度には一気に28億円に増えた。加西市も同様に増えている。これは、法改正により国保が県単位化になったことで、基金を重視した結果このようなことになっていると思うが、どうなのか。西脇市も基金が徐々に増えていっているが、以前は、保険税を下げのために基金を投入し、基金が減っていくという方策だったと思う。しかし、近年は保険税の収入が増え、余裕ができて基金に繰り入れているということで、順調にしていると思う。今後、基金や保険税についてどう変わっていくかが分かれば説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お答えできる範囲で回答をさせていただきます。</li> <li>加西市では、県単位化となった平成30年度から一気に基金が増えている。同市では、国保税について県の標準保険税率にあわせると、税額が一気に変わってしまうようであり、激変緩和ということで県から交付される金額が多くなり、そのため基金が増えているようである。</li> <li>西脇市でも基金が増えているが、その要因は、国保税の徴収率が年々上がっていることが大きいと思う。例年、特別会計への基金が</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>らの繰入も想定をしているが、収納率が予想を上回っているため昨年度は繰入を行わず、基金が増えているという状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、令和4年度は、県の標準保険税率が下がったため、基金を入れなくても税額が下がるということになっている。</li> <li>・県内の保険税率の統一については、その方向で話が進んでおり、今は県と市町で協議を行っているところである。予定では、令和9年度からの統一を目指すということで、その年度までは、各市町で徐々にその税率に近づけていっている段階である。</li> <li>・なお、税率統一後は、保険税を引き下げるために基金を投入することはできなくなる。そうすると、基金の用途をどうするのかという話になってくるが、例えば人間ドックへの助成や保健事業の充実など、被保険者に還元できる方法で基金を使っていきたいと考えている。</li> </ul> <p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞紙上で、国保税の支払ができない人に対して、証明書を発行していない自治体があるというような記事を見たが、これは資格証明書のことになるのか、そのあたりを教えてほしい。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者証と資格証明書は別の物である。被保険者証はいわゆる保険証のことで、資格証明書は国保の資格があることを証明するものであり、病院にそれを持って行っても保険証の代わりにはならず、医療費は全額自己負担となる。ご質問の件は、被保険者証の短期証の交付をしていない自治体がある、ということかもしれない。</li> </ul>
<p>委員</p>	<p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納している方は、保険証が使えないのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納の度合いにもよる。滞納があっても一定の納付がある方は、短期証を継続して発行している状況である。資格証明書や未交付の世帯は、こちらがアクションを起こしても、納付も反応もない世帯である。</li> </ul>
<p>委員</p>	<p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業の中には、今西脇市が実施している「Ni-Co」は入っているのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸運動教室「Ni-Co」は、国保だけの事業ということではなく、市全体の事業として実施をしている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体に注意して健康を保っていくことが医療費の抑制にもつながっていくと思うので、国保だけの問題ではなく、色んなものを抱き合</li> </ul>

事務局	<p>わせてやっていかないといけないのではないか。</p> <p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おっしゃるとおりである。健幸都市推進課では、いわば「攻めの健康づくり」に取り組むことで、医療費や介護給付費の抑制を目指している。</li> <li>・3年間は内閣府の交付金により先ほどのような事業ができるので、医療費や介護給付費の抑制効果などを検証して、その後の事業展開につなげていきたいと考えている。</li> </ul>
会長 事務局	<p>○報告事項(6) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明を求める。</li> </ul> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査は、40歳以上を対象とする、内臓脂肪症候群、いわゆるメタボに着目した健診である。特定保健指導は、特定健康診査の結果、腹囲や検査項目が一定基準に該当する被保険者に対し、生活習慣の改善等を促すための保健指導を行うものである。</li> <li>・特定健康診査について、令和3年度は対象者 6,440人に対し、受診者数は 2,543人で、受診率は39.5%となっている。ほぼ新型コロナ感染症流行以前の令和元年度の水準まで戻ったという状況であり、健診の受診控えが一段落したのではないかと考えている</li> <li>・受診率向上対策として、町ぐるみ健診では、ホームページからの申し込みや託児日、レディースデイの設定など受けやすい環境を整え、受診勧奨ハガキについても、新規の方や過去3年未受診の方などにセグメント別のはがきを送るなど工夫をしている。</li> <li>・本年度も、個別の電話勧奨及び訪問勧奨の実施や、会社で健康診断を受けられた際のデータ提供の依頼、また健幸ポイントと関連付けた受診勧奨などに取り組み、受診率の向上につなげていきたい。</li> <li>・特定保健指導も、令和3年度は持ち直しの傾向が見られる。</li> <li>・本年度も、動機付け支援対象者及び積極的支援対象者には、自宅訪問による保健指導を実施するほか、健幸都市推進課で実施する健康運動教室「Ni-Co」についても、200名の追加募集を行う。</li> <li>・今後も、健康意識の啓発や健康づくり事業を推進することで病気の早期発見や予防につながり、将来的な医療費の抑制へとつながると考えるので、今後も、予防に力点を置いて、健診受診率の向上や保健指導の充実に向けて積極的に取り組んでいきたい。</li> </ul> <p>○意見、質疑等（なし）</p>

会 長	○(7) その他
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、委員からこの際聞いておきたいことなどはないか。</li> </ul>
事務局	○質問
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸運動教室の参加者の平均年齢は。</li> </ul>
事務局	○回答
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的なデータはないが、一番多いのは60代から70代で、そこがボリュームゾーンになっている。</li> </ul>
事務局	○質問
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸運動教室の枠はまだあるのか。昨年は一杯で参加できなかった。本市は高齢者が多く、医療費も高いと思っており、健康になって医療費を下げることがねらいだと思うが、やりたいと思っても一杯になってしまっているの、何か方法はないだろうか。今は70歳でも若いので、その人たちがケガをしないようなトレーニングをできるような対策をしてもらいたい。私の友人の話だが、トレーニングをしなければいけないということでトレーナーに来てもらったが、急に取り組んだことで身体を壊してもらった例もある。70歳からできるようなことを考えてもらえれば、健康づくりにつながるのではないか。</li> </ul>
事務局	○回答
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸運動教室は大変好評をいただいております、昨年度は3日で募集枠が埋まってしまった。本年度は200人を抽選方式により募集したが、残念ながら61名の方が選に漏れてしまった。枠を大きく増やすのは難しいが、一つの方法として、医師から患者さんに対し、生活習慣病の予防ということを目的に運動を勧奨し、市に紹介してもらえる場合は、別枠で参加枠を設け参加してもらっている。</li> <li>・また、大学とも連携した事業のため、10万人のデータを持っており、この方にはこれぐらいの運動が安全だろうということで指導をしているが、参加者には、週に1回の教室だけでなく、家でも取り組んでもらうことから、それが負担になるので、もう少し楽な方法はないのか、という声もある。そのギャップを埋めるため、健幸ポイント事業を実施しており、歩いた歩数に応じてポイントを付与し、ポイントを商品券などに替えるという取組も行い、こちらも好評をいただいている。健幸ポイント事業は210人の枠の追加募集を行っているの、ぜひご参加をいただきたい。歩数計は市からの貸与となる。</li> </ul>
事務局	○質問
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でいきいき体操を実施されているが、市とは別の取組か。</li> </ul>
事務局	○回答
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が市からの補助を受けて実施をしている。月に5,000円、年間</li> </ul>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>では6万円の補助がある。その場に看護師や栄養士に来ていただいて指導をいただいたりもしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、5人以上の自主グループを作っていたら、市が介護予防のDVDを配布したり講話を行ったりするというサポートも行っている。</li> </ul> <p>○質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの抗原検査キットが無料配布になるという話があったが、どういう状況か。</li> </ul> <p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では具体の状況は把握していない。</li> </ul> <p>○閉会</p>
----------------------	---